



日本山岳会『山』目録

自三〇一号〜至三五〇号

論説・研究・随想

Gunter Oskar DYHLENFURTH

石黒さんの碑の除幕式に参列して
吉沢 一郎 三〇一

第二十四回ウエストン祭
坂倉登喜子 三〇二

オスカー・ハウストン
吉沢 一郎 三〇二

「山岳」編集覚書
望月 達夫 三〇二

ヒラリー夫妻の来日
佐藤 テル 三〇三

ヒラリー夫妻を迎えて
神原 達 三〇三

女性からみたヒラリー卿との六日間
村山 汀子 三〇三

ヒラリー夫妻との富士山
山口 節子 三〇三

万博会場における講演(Ⅰ)
ヒラリー 三〇四

ED & WHIZZIE との旅
吉沢 一郎 三〇四

ニュージールランドへもお出で下さい
ヒラリー 三〇五

万博会場における講演(Ⅱ)
ヒラリー 三〇五

千客万来(ハヤット・アーマッド・カーン、
ガートルード・スミス女史、フリッツ・H・
ウイイスナー)
吉沢 一郎 三〇六

エベレスト五十年
松方 三郎 三〇九

山登りとは撰生
麻生 武治 三〇九

大雪山はタイセツザンだという
武田 久吉 三〇九

ある満たされた山行
孫慶 錫 三〇九

第九回この一本展解題(上)(中)(下)
三〇九、三一一、三一二

楽天園に大平農翁レリーフ建立
渡辺 貞一 三〇九

『山に忘れたパイプ』を読む
織内 信彦 三二〇

富士山の三角点と高さ
武田 満子 三二〇

医者・医者・医者
松方 三郎 三二〇

山で覚えたパイプの煙 柿原 謙一 三二二
年次晩餐会覚書(昭和25年〜45年度年次晩
餐会一覽表) 望月 達夫 三二二
相模野基線の近況 松田 雄一 三二二
第二回現地支部長会議と記念山行に参加して
日高信六郎 三二三
会報の誌名 望月 達夫 三二三

ヒマラヤ訪問者への警告 赤井 寿紀 三二三
―急性ウイルス性肝炎―
W・ウエストン師像の由来 榎 有恒 三二四
蔵冬期の西穂高岳の記録 山崎 安治 三二四
細雨に霞む六義園 成瀬 岩雄 三二四
極東の遊歩場 島田 巽 三二五

「山岳」と「山」―誌名のことなど― 小野 幸 三二五
会報誌名について 高沢 光雄 三二五
蔵冬期燕岳スキー初登頂の記録 山崎 安治 三二五
登山不毛の二年半 日高信六郎 三二五
パイプとコーヒ 月原 俊二 三二五

コリーとライストからの便り 三田 幸夫 三二六
南アルプス山名考 山本朋三郎 三二七
マナスルのハーケン 今西 寿雄 三二七
五大陸の最高峰 松永 敏郎 三二八
同時登攀の確保について 吉沢 一郎 三二八
日本山岳会の滅亡を連言する 西丸 震哉 三二九
モスクワの夜―ソ連の岳人達と― 織内 信彦 三三〇
46年度年次晩餐会所感 伊藤秀五郎 三三〇

近藤 信行 三三〇〜三三三
「明治の山旅」を読んで 神原 忠夫 三三〇
サラグラール及びランガールを中心としたカ
ムルテ地図(宮森氏作成)の説明

イザルケ岳 吉沢 一郎 三二〇
七九〇〇mまでは酸素不要というが
(吉沢) 山本朋三郎 三二一
Tilman は健在なり 雁部 貞夫 三二二
「中央アジア探検史」を読む 三二二

雪男考 望月 達夫 三二二
ヒマラヤ旅中詠 松方 三郎 三二二
センジケ原 小林 智明 三二二
秩父宮妃殿下のおことば 山本朋三郎 三二二
山と蝶のものがたり1 春田 俊郎 三二四
君知るや南の涯 荒尾 宏 三二四
平ヶ岳瞥見記(遺稿) 武田 久吉 三二四
山と蝶のものがたり2 春田 俊郎 三二五
『ヒマラヤ』著者の立場 白川 義員 三二五
雪上での制動確保について 松永 敏郎 三二五

高所登山技術考A1V 村井 葵 三二五
上高地梓河畔に歌いつづけて十五年 坂倉登喜子 三二六
マナスル一九七二年の顛末 高橋 照 三二六
山と蝶のものがたり3 春田 俊郎 三二六
高所登山技術考A2V 村井 葵 三二六
嗚呼五十年 松方 三郎 三二七
山と蝶のものがたり4 春田 俊郎 三二七
山頂仏(上) 藤島 玄 三二七
山と蝶のものがたり5 春田 俊郎 三二八
山頂仏(下) 藤島 玄 三二八

高所登山技術考A3V 村井 葵 三二八
日本登山界への疑問(ルシアン・ドゥワイの
場合) 吉沢 一郎 三二九
山と蝶のものがたり6 春田 俊郎 三二九
アンデス写真資料解説公刊の勧め 田中 薫 三二九
ヒマラヤについて(私見を二、三)
大問知邦太郎 三二九
山と蝶のものがたり7 春田 俊郎 三三〇
南アルプスと人間A上V 山本朋三郎 三三〇
極点往復の一評価 島田 巽 三三一
山と蝶のものがたり8 春田 俊郎 三三一

武田久吉著作展(出品目録・解題)①②③
春田 俊郎 三三二〜三三四
ある日カナダの旅で 三田 幸夫 三三二
カナダのこと 田口 二郎 三三二
山と蝶のものがたり9 春田 俊郎 三三二
南アルプスと人間A下V 山本朋三郎 三三二
『アルプス山とライン河』の著者 中目覚氏
山崎 安治 三三三
中目覚先生略歴 名須川 浩 三三三
ワンデー由来 板倉 勝正 三三三
地球の履歴書 伊藤秀五郎 三三三
凡俗の淵―深田さんの言葉― 小野 幸 三三三

山と蝶のものがたり10 春田 俊郎 三三三
慰めの詩 田辺 主計 三三三
南アルプス地名雑考 山本朋三郎 三三三
山と蝶のものがたり11 春田 俊郎 三三三
本元 飯豊山 藤島 玄 三三三
漢筆山をめぐる話 佐々木四十臣 三三三
『ヒマラヤ』著者の立場再び 白川 義員 三三三
山と蝶のものがたり12 春田 俊郎 三三三
六華俱樂部緑樹山荘(青木山小屋)の記録 水野 公男 三三三
石井鶴三先生の歌 小野 幸 三三三
献歌・ウエストン祭の歌 坂倉登喜子 三三三
中村清太郎さんと大井川奥山 日高信六郎 三三三

太平洋から塩見岳が見える 山本朋三郎 三三七
大井川の語源に就いて 山本朋三郎 三三七
高千穂町(宮崎県)のウエストン碑について 三三八
小泉信三さんの書簡 伊藤秀五郎 三三八
ホップゲイルグス登山学校のこと(一九六八
年の思い出) 池沼 慧 三三八
一枚の色紙 安川 茂雄 三三八
大町の山岳博物館 鈴木 実 三三八
大平農没後三十年に寄せて 久保田 全 三三九
ホップゲイルグス登山学校のこと(日本の登山
クラブを思う) 池沼 慧 三三九・三四〇
鳥水氏実弟 小島栄氏を訪問して 三三九・三四〇

国内通信

インドより インドより ジャナー登頂(二信)	須田 紀子 三四九 清水 春美 三四九 橋村 一豊 三五〇
谷地平生活 病床短信 南部の低い山二つ(姫神岳・南昌山)	名須川 浩 三〇一 佐藤隆太郎 三〇一 古沢 肇 三〇二 市村 貞夫 三〇二 岩永 信雄 三〇四 川喜多壮太郎 三〇四 森谷 虎彦 三〇四 吉沢 一郎 三〇七 藤島 玄 三〇七 山下 久男 三〇九 雨ヶ岳 三〇九 遠野物語碑 三一一 今西錦司氏浅草岳に へラトへ出発を前に 志津倉山登山 山歩き五十年 石動山 さわがに相海新道 昨年後半の山あるき 山便り 雪の高森山 ハーディ夫妻立山を歩く 立山黒部アルペンルート 青藍の海 虎毛山 和賀岳 久恋の和賀岳と高松岳、山伏岳
須田 紀子 三四九 清水 春美 三四九 橋村 一豊 三五〇 名須川 浩 三〇一 佐藤隆太郎 三〇一 古沢 肇 三〇二 市村 貞夫 三〇二 岩永 信雄 三〇四 川喜多壮太郎 三〇四 森谷 虎彦 三〇四 吉沢 一郎 三〇七 藤島 玄 三〇七 山下 久男 三〇九 雨ヶ岳 三〇九 遠野物語碑 三一一 今西錦司氏浅草岳に へラトへ出発を前に 志津倉山登山 山歩き五十年 石動山 さわがに相海新道 昨年後半の山あるき 山便り 雪の高森山 ハーディ夫妻立山を歩く 立山黒部アルペンルート 青藍の海 虎毛山 和賀岳 久恋の和賀岳と高松岳、山伏岳	

今西錦司博士の五カ年計画 須金岳から虎毛山 三十余年ぶりの利尻富士 平ヶ岳の思い出 幻の花のふるさと京丸谷 北穂集中登山を顧みて…… 八幡平にひそむ滝の上温泉 長者舎山荘で鹿肉を食べる会 五竜岳の元旦 長須ヶ玉山と台倉高山 山とパイプと地酒の味 若者よ、頑張れ 巻機山 御蓋(みかさ)山 シリベシ山 駒ヶ岳 支部の皆様のお便りを御待ちします 西クマネシリ岳 唐倉山 日中飯森山 火打山から金山へ 田中澄江さん一行と小樽丸山 鮭・蜂・守門山の記 神威岳 飯綱山スキー行と会津朝日岳 錦城山 鬼の目山 単独行、ささやかな一年間のレポート 高嵐山 飯森山	市村 貞夫 三三二 中村 純二 三三三 相川 修 三三三 土橋 進一 三三四 坂倉登喜子 三三四 沼倉寛二郎 三三四 村井 米子 三三五 山崎 安治 三三五 河村 栄一 三三五 望月 達夫 三三七 柿原 謙一 三三七 松村 高 三三七 川崎 精雄 三三八 茶谷 東海 三三八 岩崎 三郎 三三九・三四〇 山下 久男 三三九・三四〇 実 三三九・三四〇 成瀬 岩雄 三四一 笠原 藤七 三四一 藤島 玄 三四一 三上 正治 三四一 滝本 幸夫 三四三 藤井 運平 三四三 川崎 精雄 三四四 山下 久男 三四四 木本 善重 三四四 周布 光兼 三四五 金沢 常夫 三四六 望月 達夫 三五〇
---	--

図書紹介

一般図書

南アルプス(白猿史朗写真集)(V)	三〇三
-------------------	-----

「日本山嶽志」複製版 ALPS(白川義員作品集)(果) 路辺見聞玉川源流日記(山田早苗著) グルジャ・ヒマール(薬師義美編) ネパールの人と文化(川喜田二郎著) 小さな旅の記録(関田美智子編) 湯の里・白骨(横山篤美著) 北方植物の旅(館脇勝著) 立山と白山(広瀬誠著) 白い秘境(池田錦重編) 奥黒部に逝く(三菱商事山岳同好会編) 東京から見える山、見えた山(横山厚夫著) 黒部幻影(福田蓂汀著) 白頭山天地(城山正三著) クマの本(ひぐま・斎藤禎男著ほか) 比摩拉耶紀行(内外大家世界探検) 奇窟探検(江見水陸著) わが越後の山(佐藤一栄著) 放浪のあしあと(加藤泰安著) 画文集「ヒマラヤ」(山里寿男著) 草原随想(伊藤秀五郎著) 朝日講座「探検と冒険」 「山岳」復刻版 プータン感傷旅行(小方全弘著) 花の画集(佐藤達夫著) 上高地開発史(横山篤美著) 自然と山と(今西錦司著) 白川義員作品集「ヒマラヤ」	野上 成男 三〇四 吉沢 肇 三〇五 神原 達 三〇五 神原 達 三〇五 山崎 安治 三〇九 田畑 真一 三二〇 佐藤 達夫 三二一 山崎 安治 三二一 加納 一郎 三二三 山崎 安治 三二六 山崎 安治 三二六 柿原 謙一 三二八 伊官 炳 三二九 加納 一郎 三三〇 山崎 安治 三三一 藤島 玄 三三一 山崎 安治 三三一 堀内 章雄 三三一 吉沢 一郎 三三一 巽 一郎 三三二 巽 一郎 三三二 鹿野 勝彦 三三二 岩永 信雄 三三二 巽 一郎 三三三 一夫 三三三 小林 義正 三三三 雄二 三三三 吉沢 一郎 三三三
--	--

スキーヤーのための雪の科学(黒岩大助著) 鶴の舞(野尻抱影著) 神々の白い峰(薬師義美著) 花と氷河(今井雄二・喜美子著) 尾瀬に死す(平野長靖著) 遠近の山(竹節作大著) 自然保護の父ジョン・ミュア(東良三著) 秘境・奥美濃の山旅(芝村文治著) シルク・ロード(深田久弥著) いろりばた(南会津山の会著) アルプスの空の下で(近藤等著) 山なみはるかに(三田幸夫著) 九州の山と高原(代表著者・折元秀穂) イラスト登山入門(文・横山厚夫、イラスト・松村充) エミちゃんの世界探検(向後紀代美著) 越中の峠(橋本広著) ヘーデン伝(金子民雄著) カラー・穂高岳・槍ヶ岳(三宅修、山下喜一郎、岩橋崇至共著) 自然と旅の原点(岡田喜秋著) 満蒙紀行(飯塚浩一著) ネパールの伊藤博文(佐藤達夫著) カナディアンロッキーズ登山報告書(日本学生カナダ登山隊編) 生カナダ登山隊編 岩と氷河の山々(国鉄山岳連盟編) 北ボルネオの山旅(橋本広著) 自然の心(佐藤達夫著) 鳥海山・飛鳥(山形県総合学術調査会)	五十嵐高志 三二五 川崎 精雄 三二六 鹿野 勝彦 三二六 織内 信彦 三二六 村井 米子 三二六 浜野 正男 三二七 島田 巽 三二八 高木 泰夫 三二八 松方 三郎 三二九 藤島 敏男 三二九 宮下 啓三 三二九 日高信六郎 三二九 イラスト 三二九 松村 充 三二九 松田 柳子 三三〇 相山 之良 三三〇 板倉 勝正 三三一 山下喜一郎 三三一 春田 俊郎 三三四 巽 一郎 三三四 巽 一郎 三三四 織内 信彦 三三四 小倉 葦子 三三五 湯口 康雄 三三五 藤島 敏男 三三六
--	--

定本松浦武四郎 上・下巻 (吉田武三著) 朝井 一男 三三六
小 林 義正 三三六

遙かなる未踏の尾根 (マカルー一九七〇一日 本山岳会・東海支部) 塚本 珪一 三三七
ヒマラヤ チョウと花の旅 (堀勝彦著) 春田 俊郎 三三八

山の思想史 (三田博雄著) 辻 莊一 三三九・三四〇
若き日の山 (串田孫一著) 瀬名 貞利 三三九・三四〇
写真集 大雪山 (北海道撮影社発行) 望月 達夫 三四一
アラスカ 最後のフロンティア (東良三著) 松崎 中正 三四一
黒部雑記 (湯口康雄著) 広瀬 誠 三四一
登山指導者研修会テキスト (文部省編) 山崎 安治 三四二
立山とガイドたち (北日本新聞社編) 山崎 安治 三四二
越中の百山 (富士県教職員山岳研究会編) 山崎 安治 三四二
尾瀬、檢枝岐への山旅 (中村春二著) 望月 達夫 三四三
山行 (楳有恒著) 山崎 安治 三四三
知らなかった美しいイタリヤ (牧野文字著、牧野四子吉絵) 山崎 安治 三四三
ヒマラヤの高峰 (深田久弥著) 吉沢 一郎 三四四
自然保護と日本の森林 (大政正隆著) 高遠 宏 三四五
立山連峰 (文部省登山研修所編) 山崎 安治 三四六
蒼昊に翔る (凌雪会編) 武田 満子 三四六
ヒマラヤ山脈の水河研究 No. 1 ヒマラヤ山脈、特にネパール・ヒマラヤの水河研究における諸問題 (比較水河研究会) 高遠 宏 三四六
アンナプルナ サウス未踏の東稜登山報告書 (一九七二年アンナプルナサウス遠征隊) 高遠 宏 三四六
近代登山の先駆者たち (近藤信行編) 三四七
テイロット谷 (東京電機大学二部山岳部ヒマ

ラヤ遠征報告) 高遠 宏 三四八
マナスル西壁 (高橋照著) 望月 達夫 三四八
『マナスル西壁』公式報告 (小原和晴・高橋善教編) 吉沢 一郎 三三〇
日本の山地地形と水河問題研究小史 (岡山俊雄著) 原田 之幹 三三〇
山の心 (楳有恒著) 島田 巽 三三〇

海外訳本

ネパール・ヒマラヤ (テイلمان著・深田久弥訳) 島田 巽 三一九
われらのものならぬ世界 (R・T・デューセル著・桑原武夫、高田方一郎訳) 近藤 信行 三二四
エベレスト南壁 (P・スチール著・丹部節雄訳) 松方 三郎 三三七
未踏の山河 (エリック・シフトン著・大賀二郎、倉知敬訳) 今村 正二 三二八
アンナプルナ南壁 (ポニントン著・山崎安治訳) 川上 隆 三三三
はるかなる天山 (セミョーフ著・田村俊介訳) 望月 達夫 三三三
嵐の大地 (エリック・シフトン著・田村協子訳) 横山 厚夫 三四四
シッキムとブータン (V・H・コエロ著・三田幸夫、内田正龍訳) 山崎 安治 三四六
『ヒマラヤ編年誌』I (マルセル・クルツ著、水野勉訳) 望月 達夫 三四七

海外雑誌・山岳団体情報紹介

山の素描第一集 (秀岳社発行) 松崎 中正 三三〇
『The Alpine Journal 1970』 吉沢 一郎 三〇五
Mountain No. 12, Nov. '70 (Y・M) 三二〇
あしびき第五号 (国学院大学山岳部編) 山崎 安治 三三三
ソ連アルピニズム年鑑 (一九六五―一九六七) 年) 田村 俊介 三二六
ロープ野郎 (Rope Boy) (デニス・グレー著) (吉) 三二八
二倍になった日 (一九七〇) (吉沢) 三三三

越後山岳第六号 (JAC越後支部編) 深田 久弥 三二六・三二七
GEOLOGY OF NEPAL HIMALAYA の発刊を喜ぶ 木崎甲子郎 三三八
時報・甲南山岳部創立四十周年記念号 (甲南山岳部編) 山崎 安治 三三三
EVEREST SOUTH WEST FACE by Chris Bonington 島田 巽 三四三
THE HIMALAYAN JOURNAL, VOL. XXXI, 1971 山本 良三 三四四
THE AMERICAN ALPINE JOURNAL, VOL. 18, 1973 山本 良三 三四四
HIGHER THAN EVEREST 山本 良三 三四四
曆程 (特集・松方三郎追悼) 島田 巽 三四六
霧の旅 (複製版) 木暮先生追悼号 織内 信彦 三四七
踏跡 (第四号) 防衛大 三四七

会務報告

会務報告
会議・委員会
会員総会
昭和四十六年度 三二二
昭和四十七年度 三二四
臨時総会 三三〇
昭和四十八年度 三三六
昭和四十九年度 三四八
年次晩餐会 三〇七
昭和四十五年度 三一九
昭和四十六年度 三三二
昭和四十七年度 三三三
昭和四十八年度 三四三
理事・評議員会 三〇一～三二四、三二六～三二九、三四〇～三五〇の各号
支部長会議 三〇二、三〇七、三二二、三三三、三三四、三三六、三三九、三四〇、三四八
集會委員会 三二五、三三四、三五〇
学生会部 三二二、三二四、三二六、三三三

婦人懇談会 三〇一、三〇二、三〇三、三二七、三四三
海外連絡委員会 三〇一、三〇五、三二五、三二六
青年懇談会 三一九、三二三、三四四、三五〇
高所登山委員会 三四三、三四五、三四七、三四九
図書委員会 三〇一、三〇二、三〇三、三〇五～三〇七、三〇九、三一一、三一二、三二七、三二九、三三〇、三三二、三三三、三三六、三三八、三五〇
ルーム日誌 三〇一～三五〇の各号
会員異動 三〇一～三四七、三四九、三五〇
会員名簿訂正 三〇一、三〇四、三〇六、三〇七、三〇八、三〇九、三一一、三二八、三三〇、三三三、三三六、三三九、三四一、三四三、三四四、三四六、三四九、三五〇
図書室便り 三〇一～三五〇各号
新刊図書受入 三〇一～三〇八、三二〇～三二五
定期刊行物受入 三〇一～三五〇各号
洋書受入 三〇一、三〇四、三〇七、三二二、三二四、三二五、三二八、三三二、三三五、三三六、三三八、三三九、三四〇、三四三、三四四、三四六、三四八 (地図受入) 三〇一、三〇四、三二二、三二四、三二六、三二八、三三〇、三三二、三三三、三三六、三四四
購入図書 三〇五、三〇六、三四四 (寄贈図書) 三〇六、三二〇、三四四 (製本報告) 三四七
新入・復活会員 (表) 三〇一～三四四、三三六～三五〇
住所・住居表示変更 (表) 三二七～三四七、三四九、三三〇
山岳第六十四年発行
アイスピケル献上の礼状 三〇三
チェコからバッジ交換の希望 三〇三
インド隊から毎日グラフの礼状 三〇三
お知らせ (五件) 三〇三
日本山嶽志願刊版頒布 三〇三、三〇五
会費納入のお願い 三〇四
昭和四十五年除籍者 三〇四

ネパール洪水義捐金の報告 三〇五	会費納入と会報発送についてのお知らせ 三〇五	年次晩餐会のお知らせ 三〇五	会報「山」の合本出来・ネクタイピン発売 三〇五	ガールールの一五万 三〇六	世界登山家名鑑 三〇六	忘年会のお知らせ 三〇六	三田会長あいさつ要旨(年次晩餐会) 三〇七	本会の現況報告 三〇七	K2の模型ルームに展示 三〇七	求む、ネパール大使館登山世話係り 三〇八	現地支部長会議日程 三〇八	「山岳」広告のお願い 三〇九	国際山岳連盟青年部集会への招待 三〇九	第二回現地支部長会議開催案内 伊達篤郎 三〇九	第七回秩父宮記念学術賞 三〇九	会員総会日時変更 三〇九	会費納入のお願い 三〇九	校註北越雪嶺発売される 三〇九	故深田久弥氏に叙勲 三〇九	会報合本(二五〇一三〇〇号)、日本山嶽志 三〇九	復刻版発売中 三〇九	山岳六十五年予告 三〇九	山岳二十六年〜六十年総索引刊行と予約募集 三〇九	図書委員会報告 三〇九	集委員会年度計画 三〇九	昭和四十六年度学生部便り 三〇九	昭和四十六年度収支決算表、財産目録 三〇九	昭和四十六年度収支予算表(案) 三〇九	山岳総索引刊行運延 三〇九	「山岳」創刊号復刻のお知らせ 三〇九	月例会の設置 三〇九	昭和四十六年度除籍者 三〇九	会員名簿複製に御協力下さい(山崎) 三〇九	日本山嶽志復刻版発売中 三〇九	山岳索引頒布 三〇九	学生会委員会 三〇九	指導委員会本年度計画 三〇九	昭和四十六年度各委員会名簿 三〇九				
会費納入のお願い 三二六	山岳創刊号復刻版予約申し込み下さい 三二六	山岳第六十五年発行 三二七	山日記無料配布 三二七	新名譽(田中薫、岩永信雄)永年(栗飯原健 三二八	一)会員決る 三二八	一九七一年度会員名簿発行 三二八	お知らせ、ミュンヘン・ユース・キャンプに 三二八	インド・ブータン合同登山隊の件 三二八	昭和四十六年度年次晩餐会・三田会長あいさ 三二九	つ・出席者 三二九	山岳創刊号復刻 三二九	図書室利用について「日本山岳会図書利用規 三三〇	定」 三三〇	UIAAについて 三三〇	山日記一九七二年度版 三三〇	山岳第一号覆刻版のお知らせ 三三一	タンボチニ僧院へヘット大蔵経寄贈 三三一	UIAAの規約(I・Y) 三三一〜三三四 三三一	「山岳」覆刻版発行 三三一	昭和四十六年度総会(お知らせ) 三三一	名譽会員設定に関する一私案 三三一	若永 信雄 三三一	池内みよ子 三三一	浅田 隆 三三一	青年懇談会より 三三一	山岳第一号第二号覆刻 三三一	日本山岳会学生部年報第五号発行 三三一	昭和四十七年度通常会員総会(三田会長あい 三三一	さつ、昭和四十六年度事業報告、収支決算表・ 三三一	昭和四十七年度事業計画、収支予算表(案) 三三一	事務局よりのお願 三三四	「山岳」第六十六年予告 三三四	「山岳」第一号第二号覆刻版発売中 三三四	ミュンヘン・ユース・キャンプ参加募集 三三四	集会担当所感 三三四	神崎 忠男 三三五	「山岳」第一号第二号覆刻版 三三五	クラブ・タイ新発売 三三五	「日本アルプス英文紹介書」編集希望者募集 三三五	(神崎) 三三五	ごあいさつ 三三六	佐々木光子 三三六
本年度(一九七二年)委員会名簿 三三六	第十五回有志懇談会出席者氏名 三三六	「山岳」第一号第二号覆刻版のお知らせ 三三六	岩永名譽会員本会へ図書寄贈(帰山毅) 三三七	「山岳」第一号第二号覆刻版(お知らせ) 三三七	岩永信雄氏寄贈図書 三三八	「山岳」覆刻版第一号第三号 三三八	「山岳」第六十六年完成予定 三三九	「山岳」覆刻版好評発売中 三三九	UIAA総会に出席して 三三九	「山岳」覆刻版をどうぞ 三三九	年次晩餐会出席者 三三九	「武田久吉著作展」目録(広告) 三三九	「山岳」第六十六年の件(訂正) 三三九	中島 寛 三三九	昭和四十七年度除籍者 三三九	昭和四十七年度通常会員臨時総会、名譽会員 三三九	三氏追悼会出席者 三三九	「山岳」覆刻版第二号第一号出来、 三三九	「山日記」七三年版 三三九	渡辺 公平 三三九	フィルムセンターの山岳映画 三三九	田中 薫 三三九	会告(会費値上げ) 三三九	会費値上げについてのお願(成瀬岩雄) 三三九	吉沢一郎氏、本会へ図書寄贈(山本良三) 三三九	ルーム便り 三三九	会費納入のお願い 三三九	会費の納入について 三三九	会報「原稿募集」 三三九	国際アルピニスト集会参加募集 三三九	「山日記」をめぐる(意見交換会の座談か 三三九	「山岳」覆刻版(第二号第二号) 三三九	「山岳」第六十七年について 三三九	山岳編集委員 三三九	複写受付事務取扱について 三三九	辻村太郎氏秩父宮記念学術賞授賞祝賀会出席 三三九	者 三三九	日本山岳会経理に関する内規 三三九				
日本山岳会旅費規程 三三五	昭和四十七年度事業報告・収支決算表、財産 三三六	目録、昭和四十八年度事業計画・収支予算表 三三六	(案) 三三六	昭和四十八年度通常会員総会報告 三三六	クラブ・ルームについて 三三六	会費納入について(若い愛読者との話合 三三六	再び山日記をめぐる(若い愛読者との話合 三三七	い) 三三七	本会図書職員交代 三三七	除籍者氏名 三三七	イタリヤ山岳会主催国際山岳写真祭の案内状 三三七	アンデス山系の「永河」の写真送付依頼 三三七	「山岳」第二号覆刻版(広告) 三三七	第十一回木暮理太郎翁碑前懇親会参加者(氏 三三七	名) 三三八	図書委員会報告 三三八	近藤 信行 三三八	除籍者氏名 三三八	「山岳」覆刻シリーズ 三三八	山岳第六十七年発行「山岳」編集委員会 三三八	除籍者氏名 三三九	三三九・三四〇 三三九・三四〇	山日記編集委員会よりのお願 三四一	JACマーク入りのぐい飲と手ぬぐい 三四一	「山岳」覆刻版シリーズ好評発売中 三四一	除籍者追加 三四一	昭和四十八年度年次晩餐会出席名簿 三四二	近代登山の先駆者たち(広告) 三四二	岡野家より「百年展」に寄付 三四二	近代登山の先駆者たち(広告) 三四二	ヒマラヤへの邦人トレッキング等の事故防止対 三四二	策について 三四二	会告、昭和四十九年度会費納入について 三四二	(外務省より) 三四二	会報原稿募集 三四二	「山岳」その他覆刻版発売中 三四二	会報合本予約受付け 三四二	総会予告 三四二	UIAA(国際アルピニスト連合)一九七三 三四二	年度総会報告 三四二	鈴木 郭之 三四二	

第十回秩父官学術賞授賞式 三四六

秩父官学術賞を頂いて 三四六

「青年登山家のための国際トレーニングキャンプ」参加報告書② 三四六

秩父官学術賞を頂いて 三四七

ソビエトのアルピニスト達と(U.I.A.A一九七三年十月)①② 三四七

昭和四十九年度通常委員総会(昭和四十八年度、会務報告、事業報告、収支決算表、財産目録、昭和四十九年度、事業計画、収支予算表、除籍者氏名) 三四八

総会・松方三郎追悼会出席者 三四八

「山岳」覆刻版シリーズ 第三年十一号 三四九

昭和四十九年度図書委員会行事予定 三四九

青年懇談会各位へ 三五〇

七四年度青年懇談会活動予定 三五〇

日本とプータン・シッキムの電報取扱 三五〇

U.I.A.A総会に出席して① 三五〇

○自然保護

屋久杉の保護決まる 村井 米子 三〇二

自然保護憲章を作ろう 村井 米子 三〇二

自然保護憲章(案) (財)日本自然保護協会 三〇九

美ヶ原と自然保護 川上 隆 三〇九

朝日連峰のブナ林 村井 米子 三一七

早池峰を守ろう 湯浅 俊行 三一八

朝日連峰ブナ林の後 村井 米子 三二四

大雪縦貫道路に反対 井手 貴夫 三二八

自然保護の第一歩 上高地ロープウェイ問題 村井 米子 三二八

山梨県連峰スカイライン 木名瀬 亘 三二八

林道という名の観光道路 奥井 清 三三九

道路)計画に反対するアルプスの道路	木名瀬 亘	三四四
連峰スカイラインに反対する自然保護委員会の方針	中原万次郎	三四五
自然保護委員会より	渡辺 公平	三四六
○上高地山岳研究所		
六月神河内山荘委員会		三三三
日本山岳会上高地山岳研究所新築入建築資金の募金開始	林 和夫	三三五
山研建築基金金現況(47・7・29現在)	山研委・林	三三六
上高地山岳研究所建設ニース(山研委)		三三七
上高地山岳研究所の上棟式	山崎 安治	三三八
上高地山岳研究所募金状況		三三九
上高地山岳研究所 八分通り完成	山崎 安治	三三〇
上高地山岳研究所募金状況		三三〇
上高地山岳研究所募金状況	(47・11・30現在)	三三〇
上高地山岳研究所募金状況	(47・12・25現在)	三三一
上高地山岳研究所募金状況	(48・1・25現在)	三三二
上高地山岳研究所募金状況	(48・2・27現在)	三三三
上高地山岳研究所募金状況	(48・3・30現在)	三三四
上高地山岳研究所募金状況	(48・4・15現在)	三三五
上高地山岳研究所募金状況	(48・5・30現在)	三三六
完成近い上高地山岳研究所	山崎 安治	三三七
上高地山岳研究所募金状況	(48・7・25現在)	三三八
上高地山岳研究所募金及びクラブルーム移転募金について		三三九・三四〇
上高地山岳研究所建築基金応募者氏名(昭47・7・12)		三四一
上高地山岳研究所竣工式	山崎 安治	三四二

上高地山岳研究所建築基金応募者氏名(昭47・7・12)

上高地山岳研究所建築基金応募者氏名(昭47・7・12)

上高地山岳研究所募金状況(48・12・20現在)

上高地山岳研究所募金状況(49・1・31現在)

上高地山岳研究所建築基金応募者氏名(昭48・1)

上高地山岳研究所募金状況(49・2・28現在)

上高地山岳研究所のお知らせ

上高地山岳研究所 利用規定

上高地山岳研究所建築基金応募者氏名

上高地山岳研究所を訪ねて

坂倉登喜子

日本山岳協会関係

神戸登山研修所開設

外務省領事館課からの要望

東京都岳連から海外登山手続きについての連絡

日山協海外登山推薦状発行規則一部改訂

井上一男所長慰勞会

第九回海外登山技術研究会

長山協関係慰勞会

海外登山推せん状発行審査基準設定について

青森県岳連指導員研修会に参加して

松永 敏郎

ヒラリー・卿歓迎パーティのお知らせ

図書委員会懇親会

ヒラリー・卿来日日程案

大エベレスト展開催	大森 薫	三〇三
新旧役員懇談会		三〇三
ソウル大OB隊歓迎会		三〇三
婦人懇談会集會報告	齋藤 桂	三〇三
第十三回もみじ会のお知らせ		三〇四
コンタミミス氏講演会		三〇四
スミス女史歓迎会		三〇四
第十一回登山技術講習会のお知らせ		三〇四
アイガー・東山稜に登った佐藤久一朗氏	山崎 安治	三〇五
この一本展のお願い		三〇五
第三回山岳図書交換会	図書委員会	三〇六
尾瀬でなごめを食べる会	岸 栄	三〇六
梓会だより	茶谷 東海	三〇七
第九回「この一本展」(故藤木九三氏をしのんで)		三〇七
第十一回登山技術講習会報告	松永 敏郎	三〇七
第十三回もみじ会	山本朋三郎	三〇七
マランソ大会報告	学生部・藤沼	三〇七
駐米新田大使使節送会		三〇九
吾妻スキー行(婦人懇談会)		三〇九
第二回日本日・K会議	山口 節子	三二〇
登山技術講習会のお知らせ	吉沢 一郎	三二〇
今年のウェストン祭(お知らせ)		三二一
第二回山岳図書を語る夕べ(富士山について)		三二一
富士登山技術講習会延期		三二一
故深田久弥氏追悼会		三二一
山里寿男ヒマラヤ個展		三二二
第九回木暮祭		三二二
第二十五回ウェストン祭	(日高)	三二二
第十四回有志閉談会	(山崎)	三二三
ビール・パーティへの御招待		三二三
モデルを聴く会		三二三
第三回図書交換会	(山崎)	三二四
第三回日本ヒンズー・クシニ会議開催		三二五
マナスル隊交歓会		三二六
第十二回登山技術講習会	指導委員会	三二六
年次晩餐会のお知らせ		三二七
西壁隊歓迎会		三二七
第四回図書交換即売会	(山崎)	三二七

冬山登山技術講習会について(期日変更のお知らせ)	三三九	参加して	三三八	第十七回紅葉会のお知らせ	三五〇
茶谷 東海	三二八	川北 仁	三三八	第二回山岳史懇談会「一高旅行部の足跡」	三五〇
第三回ヒンズー・クシユ会議(吉沢)	三二九	指導委員会	三三八	第二回山岳史懇談会「高旅行部の足跡」	三五〇
第十二回冬山登山技術講習会報告	三二九	宮下 秀樹	三三八	第二回山岳史懇談会「一高旅行部の足跡」	三五〇
図書委員会懇親会	三二九	第六回図書交換会	三三八	穂高潤沢テント集会	三五〇
青年懇談会発会式	三二九	第六回有志閑談会	三三八	第七回図書交換会	三五〇
望月達夫さんをねぎらう集り	三二九	小島鳥水、木暮理太郎、岡野金次郎三氏生誕百年記念展の準備について	三三八	第五回山岳図書語る夕べ	三五〇
望月君の労を犒う会(山岳編集二十余年)	三二九	「この一本展」のお願い 図書委員会	三三九・三四〇	小集会	
日韓合同高所医療セミナー(大森・関口)	三三〇	第十六回もみじ会御案内	三三九・三四〇	第二五九回「第八回木暮翁前懇親会」	三〇一
日本アンデス会議開催	三三〇	忘年会のお知らせ	三三九・三四〇	第二六〇回「グルジャ・ヒマール登頂の記録」	三〇一
第三回山岳図書語る夕べ	三三二	忘年会のお知らせ	三三九・三四〇	小集会予定のお知らせ(昭和四十五年下半期)	三〇二
(藤島敏男氏を囲んで)	三三二	卒会だより	三三九・三四〇	第二六一回「モンゴルハルヒラー連峰について」	三〇三
ことしのウェストン祭	三三二	第六回山岳図書交換会報告	三三九・三四〇	第二六二回「マカール東南稜登頂報告」	三〇五
池内みよ子嬢送別会	三三二	昭和四十八年度年次晩餐会	三四二	第二六三回「エベレスト登山報告会」	三〇五
高山植物のスライドを見る会 婦人懇談会	三三二	第十六回紅葉会報告	三四二	第二六四回「現地小集会・富士西湖」	三〇五
秋川溪谷の鱒釣り	三三三	高所登山研究会(第一回)	三四三	富士山麓西湖現地小集会 鈴木恭一郎	三〇五
ビールパーティのお知らせ	三三三	越後駒ヶ岳懇親山行(婦人懇談会)	三四三	第二六五回「アンナプルナ三峰・タウラギリ六峰登頂報告」	三〇六
青年懇談会	三三三	山岳図書語る夕べ(お知らせ)	三四三	第二六六回「北中南米十七ヶ国踏査とアンデス登山隊報告」	三〇九
婦人懇談会	三三三	近代登山の先駆者たち 展華かに日本橋・丸善で開催	三四三	第二六七回「忘年会」	三〇九
第十五回有志閑談会(板倉勝正)	三三三	山岳史懇談会(図書委員会)	三四三	第二六八回「同志社大学ダウラギリ主峰登頂報告会」	三一〇
ビール・パーティ(お知らせ)	三三五	山岳史懇談会	三四三	第二六九回「大阪大学ビーク29登頂報告会」	三一〇
新役員懇親会(板倉)	三三五	山岳史懇談会	三四三	第二七〇回「静岡大山岳会チョーレン・ヒマール登山隊報告会」	三一一
潤沢キャンプのお知らせ	三三六	山岳史懇談会	三四三	第二七一回「スケッチ教室」	三一一
佐々木、杉山嬢歓迎会	三三六	山岳史懇談会	三四三	第二七二回「エベレスト国際隊帰国報告会」	三一一
第五回図書交換即売会(お知らせ)	三三六	山岳史懇談会	三四三	第二七三回「第二回・スケッチ教室」	三一一
第十回木暮理太郎翁前懇親会	三三六	山岳史懇談会	三四三	第二七四回「マナスル西壁登頂報告」	三一一
山岳史懇談会主催・ビール・パーティ	三三七	山岳史懇談会	三四三	第二七五回「現地小集会・数馬」	三一一
中屋 健式	三三七	山岳史懇談会	三四三	第二七六回「現地小集会・川原山」	三一一
岩永氏を囲む会(お知らせ)	三三七	山岳史懇談会	三四三	第二七七回「ヒマラヤに関する実務」	三一一
図書交換会(お知らせ)	三三七	山岳史懇談会	三四三	第二八〇回「現地小集会・八方尾根」	三一一
婦人懇談会主催鳥海山の秋を味わう会(お知らせ)	三三七	山岳史懇談会	三四三		
第十五回もみじ会のお知らせ	三三七	山岳史懇談会	三四三		
山岳図書交換即売会・第五回(お知らせ)	三三八	山岳史懇談会	三四三		
第十五回もみじ会二報 会場変更通知	三三八	山岳史懇談会	三四三		
岩永信雄氏をかこむ会(近藤信行)	三三九	山岳史懇談会	三四三		
「冬山の危険」について講演会のお知らせ	三三九	山岳史懇談会	三四三		
冬山登山技術講習会について(期日変更のお知らせ)	三三九	山岳史懇談会	三四三		

第二八一回「エベレスト見物・スライド」 三三二
 第二八二回「ヒマラヤ映画上映」 三三二
 第二八三回「ニュージラランド山岳会副会長を囲んで」 三三五
 集会・年間計画 三三五
 第二八四回小集会のお知らせ 三三五
 第二八五、二八六回のお知らせ 三三六
 第二八六、二八七、二八八回のお知らせ 三三七
 第二八八回「パネルディスカッション・日本山岳会会員としての意識と自覚」 三三八
 第二八九回「現地小集会・大岳集中登山」 三三八
 第二九〇回「拓大・ヒンズークッシュヒマラヤ、電通大・第一次ヒマラヤ学術登山隊報告」 三三九
 第二九一回「映画と講演の夕」 三三九
 第二九二回「ジャック・エディ氏講演」 三三九
 第二九三回「スキー懇親会」 三三九
 第二九五回「溪流つり集会」 三三九
 第二九八回「大岳山集中登山」雨天中止 三三九
 清水 春美 三三三
 神崎 忠男 三三四
 小川 武 三三三
 集委員会より 三三四
 集委員会本年度年間計画 三三四
 第三〇三回「忘年会」 三三四
 小倉 厚 三三四
 第三〇三回「忘年会」 三三四

支部情報

富山のヒラリー卿夫妻 中田 勇吉 三〇三
 佐渡の支部長会議感想 熊沢 正夫 三〇三
 秋田と荒巻先生「スキー安全塔」建立によせ 三〇三
 保坂 隆司 三〇三
 下界のヒラリー夫妻 石坂 久忠 三〇四
 東海支部マカール遠征の前後 熊沢 正夫 三二〇
 第二回現地支部長会議報告 伊達 篤郎 三三三
 弥彦山松明登山祭 吉沢 一郎 三一六
 第十四回もみじ会お知らせ 静岡支部 三一六
 山梨支部新役員 三一七
 北海道支部新役員 三一七
 熊本支部秋季登山 三一八

静岡支部の紅葉会に出席 成瀬 岩雄 三二九
 第十四回もみじ会報告 静岡県支部 三二九
 現地支部長会議兼現地小集会のお知らせ 三三一
 岩手支部発足 三三一
 ことしの現地支部長会議 三三二
 北海道支部だより 三三三
 第三回現地支部長会議兼現地小集会実施細目 三三三
 しない支部 三三四
 不法でないわれわれの立場 藤島 玄 三三四
 信濃支部長・塚本茂樹 三三四
 富山支部総会出席報告 吉沢 一郎 三三四
 東海支部移転通知 三三四
 支部だより(関西 秋田支部役員) 三三五
 快晴に恵まれた鳥海小集会(現地支部長会議) 三三五
 第三回現地支部長会議に出席して 三三六
 成瀬 岩雄 三三六
 岩手支部を訪ねて (成瀬) 三三六
 熊本支部移転通知 三三六
 アンナブルナイ偵察隊について 三三八
 塚本 茂樹 三三九
 四十八年度現地支部長会議予告 三三九
 北海道支部 三三九
 熊本支部秋季例会 三三九
 福岡支部、東九州支部合同懇談会のこと 三三九
 吉沢 一郎 三三九
 岐阜支部発会式に参加 吉沢 一郎 三三九
 現地支部長会議・現地小集会開催の件(お知らせ) 三三九
 北海道支部 三三九
 アンナブルナイ峰の計画 三三九
 信濃支部・塚本茂樹 三三九
 第十一回金山平木暮理太郎翁碑前懇親会へのご案内 山梨支部 三三四
 現地小集会八十勝岳V申込みは五月二十日に締切ります!! 北海道支部 三三四
 もう一つのウエストン祭 熊本支部総会報告 三三七
 東海支部の現況と昭和四十八年度総会報告 中世古隆司 三三七
 アタックと遭難事故の前後 信濃支部アンナブルナ登山隊 三三八

第四回現地支部長会議と十勝岳小集会 高沢光雄 三三九・三四〇
 越後・石川・岐阜支部合同懇親登山 藤井 洋 三三九・三四〇
 紅葉の蔵主に「きのこ」を喰う会開催御案内 伊達 篤郎 三三九・三四〇
 芦別岳現地小集会 北海道支部・高沢 三四二
 北海道支部昭和四十八年度後期事業計画 三四二
 第十二回木暮理太郎翁碑前懇親会へのお誘い 山梨支部 三四六
 東海支部通常総会のお知らせ 浅見 正夫 三四七
 一九七四年度関西支部総会報告 三四九
 昭和四十九年度静岡県支部総会報告 三四九
 昭和四十九年度熊本支部春季総会 三四九
 高頭仁兵衛祭のお知らせ 越後支部 三四九
 越後支部の還暦を祝う会 鈴木 敏雄 三五〇

人事往来

一般記事

奇遇!! 吉沢 一郎 三〇二
 山男久野さんの横顔 横田 敬一 三〇五
 新永年会員紹介(神谷恭氏、佐藤隆太郎氏) 三〇七
 佐藤永年会員の近況 (松田) 三〇七
 池内さん本会図書室に勤務 三〇一
 故深田久弥氏に叙職 三〇一
 藤島越後支部長重傷 三〇一
 植村 伊藤両隊員帰国 三〇一
 吉沢副会長勤務先移転 三〇一
 Honorary Members of the Alpine Club (横有恒氏、松方三郎氏) 吉沢 一郎 三二四
 関東学生山岳連盟総会 三二四
 全日本学生山岳連盟委員会 三二四
 全日本学生山岳連盟総会 三二四
 行方不明の会員 三二四
 日高名譽会員にネパール国文化勲章授章 三二四
 コロラド大学へ研究 河野 長 三二七
 山下一夫氏入院 三二七

渡部節子氏結婚 三二七
 秋の叙職(早川種三氏、村田数之亮氏) 三二八
 新名譽会員(田中薫氏、岩永信雄氏) 新永年 三二九
 会員(粟飯原健三氏) 紹介 (編者) 三二九
 武田先生健在なり 三二四
 春の叙職(今西錦司氏、小池新二氏、吉田久兵衛氏) 三二四
 ハーデー夫妻の来日 山口 節子 三二七
 故武田久吉氏に従五位 三二七
 ハーデー夫妻を福岡に迎える 新員 三二八
 二世続々 吉沢 一郎 三二八
 H・C・サリンソンの来日 須田 紀子 三三〇
 新永年会員紹介(野口末延氏、吉田久兵衛氏、山崎金次郎氏) 三三一
 会員消息(年次晩餐会欠席者通知より) 三三一
 秋の叙職(今西錦司氏、伊達篤郎氏、小島六郎氏) 三三一
 名譽会員、辻村太郎さんをお訪ねして 成瀬 岩雄 三三二
 春の叙職(須賀太郎氏、西堀栄三郎氏、岡田タクル、ネパール大使離任 三三九・三四〇
 ネパール駐在日本国大使も異動 三三九・三四〇
 ガルツェン遭難援助資金について 三三九・三四〇
 ネパール王国政庁全焼 三三九・三四〇
 イラン山岳会長、富士山へ 山本 良三 三四二
 シニエラ・クラブの人々再遊 村井 米子 三四二
 新名譽会員(辻庄一氏、加納一郎氏、早川種三氏、三田幸夫氏) 新永年会員(中島正文氏、成瀬岩雄氏) 紹介 三四三
 訃報・追悼
 冠松次郎氏逝去 小野 幸 三〇二
 行方沼東さん逝く 岩永 信雄 三〇四
 冠松次郎氏を悼む 冠 郁夫 三〇四
 御会葬ごあいさつ 冠 三〇六
 冠松次郎氏追悼会 山崎 安治 三〇六

ワイルム・ヘッセル 吉沢 一郎 三〇七
 藤本九三名譽会員死去 三〇七
 広田憲治氏 三〇九
 深田副会長急逝 三二〇
 深田久弥氏のこと 藤島 敏男 三二一
 弔辞(深田久弥氏) 三田 幸夫 三二一
 品川大海氏死去 藤島 玄 三二一
 成田隊員一周忌法要 ああ深田久弥先生 川北 仁 三二二
 ジョージ・イングル・フィンチ逝く 袋一平さんのこと 望月 達夫 三二五
 山崎和氏 藤島 敏男 三二五
 塚本繁松氏のこと 古沢 肇 三二七
 入沢文明氏死去 シュトイリ爺さんの死 田口 二郎 三二八
 入沢文明さん 渡辺 公平 三二八
 深田先生の初盆 川北 仁 三二八
 故深田久弥氏の墓参り (吉沢) 三二九
 岡徳徳之助氏逝去 佐藤隆太郎氏 三三〇
 F. Spencer-Chapman 逝く (I・Y) 三三二
 深田久弥氏を偲ぶ会 「九山忌の山」 川崎 精雄 三三三
 武田久吉博士のことども 藤島 敏男 三三五
 武田先生を偲ぶ 島中 善弥 三三八
 牧野平五郎さんの追想 中田 勇吉 三三九
 名譽会員田部重治氏を悼む 成瀬 岩雄 三三九
 井本貴子さんのこと 久新大四郎 三三九
 深田先生鳥海の花と蒼をお供えします 塩田 良伸 三三九
 川喜田さんを偲ぶ 小野 幸 三三〇
 諸岡一次さん逝く 村尾 金二 三三〇
 名譽会員三氏(武田・鳥山・田部)追悼講演 要旨 松本善二、藤島敏男、茶谷東海 三三一
 小熊博士のこと 初見 一雄 三三二
 田部重治追悼歌 山下 久男 三三三
 九山山房訣の会(寄せ書) 田中 栄蔵 三三四
 ふたつのあいさつ状(足立源一郎氏追悼) 小野 幸 三三七
 山と植物に生きた山下先生 坂倉登喜子 三三七

城山正三さんを追悼して 木村 善昌 三三七
 白石勝教さん逝く 貝森 健治 三三七
 雲の彼方に、山と雲と番人と、の著者 内山正二郎 三三七
 九山忌 山下 久男 三三七
 松方三郎氏逝去 三三九・三四〇
 本会元会長、名譽会員 松方三郎氏逝く 三四一
 愛され、信頼された一生 松本 重治 三四一
 一松方三郎君を惜しむ(追記) 藤島 敏男 三四一
 弔辞(松方三郎氏へ) 横 有恒 三四一
 松方さんのこと 小野 幸 三四二
 山下一夫さんのこと 望月 達夫 三四三
 戸沢英一君 藤島 敏男 三四七
 尾崎さんの山歩き 串田 孫一 三四七
 木暮友枝さんのこと 小野 幸 三四七
 また、松方さんのこと 小野 幸 三四八
 山下一夫氏の一周忌を迎えて 今井 雄二 三四九
 神谷名譽会員死去 今西 錦司 三四九
 弔辞(神谷恭氏へ)

海外登山情報

○ヒマラヤ(ネパール・カラコルム)
 J・アレンからの手紙 吉沢 一郎 三〇一
 ダウラギリ主峰(八二六七m)同志社大学 三〇八
 >Nanga Parbat, 1970 Rupal-Flanka>
 植村、伊藤隊員 国際エ峰隊に参加 三二〇
 一九七〇年のヒマラヤ(日本隊)関西登高会 三二一
 関西大学山岳部・早稲田大学山岳部・日本山岳会・日本女子登山クラブ 吉沢・山崎 三二一
 ローツェ各峰の高度変更 (吉沢) 三二二
 マカール・一七七〇―東南稜初登 日本山岳会東海支部 原真・浅見正夫 三二二、三二二
 国際隊南壁を断念 三二二
 一九七〇年のヒマラヤ(日本隊)上智大学体育会山岳部・静岡大学隊・同志社大学隊・福岡山の会・日本大学隊・大阪市立大学隊・東

京工大蔵前山岳会隊・大阪大学山岳会 三二二
 エベレスト・ビュー・ホテルの紹介 三二二
 アンナプルナII峰の事故 西郡 光昭 三二四
 救助活動と捜索について 松尾 武久 三二四
 一九七一年のヒマラヤ(日本隊)高野大学学術調査隊・東京アンナプルナ会 三二五
 一九七〇年ポスト補遺 勝山山岳会 三二五
 メラ・ラのトレッキング(山岳巡礼クラブ) 中村 三二五
 ネ政府九隊に登山許可 三二五
 エベレスト登山七三年まで申請受理 三二五
 秋のアルペンチン・エベレスト隊 三二五
 マカール頂上の日章旗 三二五
 一九七一年のヒマラヤ(ブレ・モンスーン) 三二六
 マナスル西壁 高橋 照 三二六
 一九七一年のヒマラヤ(ブレ・モンスーン) 三二七
 東京大学山の会 三二七
 一九七一年のヒマラヤ(日本隊)雪男探検隊、タウラギリIV 三二八
 一九七一年のヒマラヤ(ブレ・モンスーン) 三二八
 長野県山岳会・蔵王山岳会・八王子ヒマラヤ登山隊 三二九
 一九七一年のヒマラヤ(ブレ・モンスーン) 三二九
 愛知教育大学西アジア調査隊・松本登高会・南部山岳会 三三〇
 一九七一年のヒマラヤ(ポスト・モンスーン) 三三〇
 千葉大学東ネパール学術調査登山隊・九州大学山岳会・長野県山岳協会・大阪府山岳連盟 三三一
 隊・千葉工業大学隊・岩峰登高会 三三一
 一九七一年のヒマラヤ(ポスト・モンスーン) 三三一
 東京農業大学隊・慶応大学登山隊・無宗楽生会・日本ヒマラヤ山岳協会・名城大学山岳部海外交流会・京都カラコルム会・立教大学理岳会隊・市川山岳会・上智大学(堀正彦) 三三二
 京都城南高校隊・福島県山岳連盟隊 三三二
 一九七一年のヒマラヤ、カラコルム、ヒンズー・クシュ、静岡登山クラブ、下関山岳会・雄山高校OB山岳会・スワロー会・早稲田大学山の会・名古屋工業大学・東神戸高校山岳会 三三三
 一九七二年のヒマラヤ(ブレ・モンスーン) 三三三
 青森県山岳連盟登山隊 三三八
 (ネパール情報)登山とトレッキングの許可 三三八

範囲について (丹部節雄) 三二九
 ヒマラヤ輸送必読 中村 進 三五〇
 ○ヒンドウ・クシュ
 ヒンズー・クシュ・一九七〇 吉沢 一郎 三〇六
 秋田HK登山隊 三〇六
 DARAH-PINAWI 滋賀県山岳連盟・大津山岳会 三〇六
 Koh-i-Pahar: 5606m: 蒲郡山の会 三〇六
 長崎大学学士山岳会・バンダコー新登頂 三〇六
 第二回H・K会議のこと 吉沢 一郎 三〇六
 HINDU・KUSH 1970 (H) 三〇七
 槍ヶ岳山荘隊 Parun Spear & Zerago Peak 三〇七
 蒲郡山の会補遺 三〇七
 中京山岳会・名城大学合同隊 MIR-SAMIR 809m 東面新ルート 三〇七
 名城大学隊 スワット 三〇七
 岐阜県連隊 スワット 三〇八
 富山女性踏査隊 スワット 三〇八
 ヒンズー・ラージ(慶応大学の会) 三〇八
 ヒンズー・ラージ(雲表倶楽部) 三〇八
 北部スワットの地図(説明) 吉沢 一郎 三〇八
 P2(五五〇〇m)から南西、南、南東を望んだもの(写真説明) 吉沢 一郎 三〇八
 雲表倶楽部隊の説明 吉沢 一郎 三〇八
 ヒンズー・ラージ 千葉工業大学隊 三〇九
 スワットの「五」若後隊 同人登勢嶺会隊 三〇九
 P・29の高度は元のまま 三〇九
 横浜三稜会 吉沢 一郎 三〇九
 ヒンズー・ラージの地図の訂正と補遺 三〇九
 一九七一年のヒマラヤ(中部ヒンズー・クシュ) 高橋 善数 三二二
 シュ) 拓殖大学山岳部岳友会・岩手医科大学隊・広島大学医学部山岳会バミール隊・松商学園短期大学山岳会 三三三
 一九七一年のヒマラヤ(東部ヒンズー・クシュ) 日本山岳会石川支部隊 三三四

一九七一年のヒマラヤ(ブレ・モンスーン) 三二二
 京大蔵前山岳会隊・大阪大学山岳会 三二二
 エベレスト・ビュー・ホテルの紹介 三二二
 アンナプルナII峰の事故 西郡 光昭 三二四
 救助活動と捜索について 松尾 武久 三二四
 一九七一年のヒマラヤ(日本隊)高野大学学術調査隊・東京アンナプルナ会 三二五
 一九七〇年ポスト補遺 勝山山岳会 三二五
 メラ・ラのトレッキング(山岳巡礼クラブ) 中村 三二五
 ネ政府九隊に登山許可 三二五
 エベレスト登山七三年まで申請受理 三二五
 秋のアルペンチン・エベレスト隊 三二五
 マカール頂上の日章旗 三二五
 一九七一年のヒマラヤ(ブレ・モンスーン) 三二六
 マナスル西壁 高橋 照 三二六
 一九七一年のヒマラヤ(ブレ・モンスーン) 三二七
 東京大学山の会 三二七
 一九七一年のヒマラヤ(日本隊)雪男探検隊、タウラギリIV 三二八
 一九七一年のヒマラヤ(ブレ・モンスーン) 三二八
 長野県山岳会・蔵王山岳会・八王子ヒマラヤ登山隊 三二九
 一九七一年のヒマラヤ(ブレ・モンスーン) 三二九
 愛知教育大学西アジア調査隊・松本登高会・南部山岳会 三三〇
 一九七一年のヒマラヤ(ポスト・モンスーン) 三三〇
 千葉大学東ネパール学術調査登山隊・九州大学山岳会・長野県山岳協会・大阪府山岳連盟 三三一
 隊・千葉工業大学隊・岩峰登高会 三三一
 一九七一年のヒマラヤ(ポスト・モンスーン) 三三一
 東京農業大学隊・慶応大学登山隊・無宗楽生会・日本ヒマラヤ山岳協会・名城大学山岳部海外交流会・京都カラコルム会・立教大学理岳会隊・市川山岳会・上智大学(堀正彦) 三三二
 京都城南高校隊・福島県山岳連盟隊 三三二
 一九七一年のヒマラヤ、カラコルム、ヒンズー・クシュ、静岡登山クラブ、下関山岳会・雄山高校OB山岳会・スワロー会・早稲田大学山の会・名古屋工業大学・東神戸高校山岳会 三三三
 一九七二年のヒマラヤ(ブレ・モンスーン) 三三三
 青森県山岳連盟登山隊 三三八
 (ネパール情報)登山とトレッキングの許可 三三八

◇六九二〇m峰◇東部ヒンズー・クシユの未踏の最高峰陥落す (吉沢一郎) 三二四

○北米・グリーンランド

アメリカ山岳会の異動
ロブソン山(カナダ) 金沢 三二五
カナダ山岳会の山小屋 今井 雄二 三二七
マッキンリーのウエスト・パットレスはゴミの山 三二二

○南米・アンデス

あのビレム・ヘッケルか 吉沢 一郎 三〇六
ペルー登山についての連絡 三二五

○ニュージーランド

新西蘭士だより 大野 俊夫 三〇七
N・Z便り 脇坂 順一 三二〇
マウント・クックに登る 脇坂 順一 三二四
国鉄山岳連盟親善登山隊(ターラン山群&クック) 吉沢 一郎 三二七

○その他

韓国ソウル大学校文理科大学OB山岳会訪日 関口 周也 三〇三
韓国山岳会創立二十五周年祝賀式典 関口 周也 三〇五
アララット峰(トルコ)の冬期初登頂 関口 周也 三〇七
アフガニスタン国内の登山規則 吉沢 一郎 三〇七
キナバル登頂 吉沢 一郎 三二〇
台湾山岳協会創立二十五周年大会 三二二
台湾玉山登山計画 平沢亀一郎 三二五
ユーゴスラビア隊のイストル・オ・ナル新登頂の問題 (吉沢) 三二九
グレース・ホーマンの遭難 (I・Y) 三二九
スカルノ峰の名称について (日高) 三三二
パキスタン登山全面禁止 三三二
(一九七〇〜七二)アタカマ探検隊 (吉沢一郎) 三三六
パキスタンの登山事情 芳野 赳夫 三三四
台湾山岳協会の近況 沼倉寛二郎 三四五

○J・A・C・エベレスト登山関係

世界の尾根にベストをつくす

大塚 博美 三〇一

エベレスト隊本隊帰国 大塚 博美 三〇二

エベレスト隊帰国ご挨拶 大塚 博美 三〇二

エベレスト・グラフ特装本発売 三〇二

カライスライド「エベレスト登頂」発売 三〇三

エベレスト会計残高試算表 三〇五

エベレスト登山残務処理報告 三〇五

エベレスト委員会 三〇八

エベレスト登山公式報告書の刊行について 三二一

第八回秩父宮記念学術賞授賞(エベレスト登山) 三二一

秩父宮記念学術賞を授賞されて 三二一

エベレスト報告書発売中 三二一

松方 三郎 三二二

ヤジエン峰からの北望(広島大学隊撮影) 三〇六

マラウ谷(地図) 秋田隊一九七〇 三〇六

ピナウイ谷源流図 大津山岳会 三〇六

バガール峰略図 蒲郡山の会 三〇六

バンダコー山塊図 長崎大学山岳会 三〇六

バンダコー関係写真三葉 三〇六

富士山でのハヤット夫妻写真 三〇六

お寿司をよくたべるスミス女史(写真) 三〇六

フリッツ・H・ウィースナー氏(写真) 三〇六

F・H・ウィースナー氏よりの手紙 三〇六

バルンの槍ルート図 二枚槍ヶ岳山荘隊 三〇七

ゼラゴ・ピークへのルート図 槍ヶ岳山荘隊 三〇七

Bondako など写真三葉 三〇七

蒲郡山の会の写真三葉 三〇七

ミール・サミール周辺図(中高・名城隊) 三〇七

Swat-kohistan 図 名城大 三〇七

D 2から南西・南・南東を望んだ写真 三〇八

Northern Swat の地図 (吉沢) 三〇八

タロー峠とスワット、タロー湖とハンビツト峰 富山隊撮影 三〇八

Thul Peak I 付近図三枚 雲表倶楽部隊 三〇八

ヒンズー・ラージ南部地図 (吉沢) 三〇九

イシュポリリ峰方面より北望 慶大 三〇九

イシュペル・ゾム峰 千葉工大 三〇九

レンジェ峰、G・ゴールカル峰 千葉工大 三〇九

サラガラール山塊写真 千葉工大 三〇九

富士山地図 武田 満子 三二〇

晩餐会スナップ二葉45・12 (吉沢氏撮影) 三二〇

第二回日本H・K会議写真 吉沢 一郎 三二〇

ノール峰からの写真 横浜三稜隊 三二〇

タウラギリIVの頂上付近よりのタウラギリの仲間達。6峰へのルート(写真) 三二一

Dhaulagiri Range 地図 関西登高会 三二一

エベレスト写真一葉 三二一

マナスル西壁予定ルート写真 三二一

JAC東海支部マカール関係写真(ヒマラヤン・ソサエティ前の隊員とC4上部の雪面を登る隊員) 撮影・白旗 三二一

BCからのマカール 撮影・白旗 三二二

マナリ周辺図 上智大 三二二

チューレン・ヒマール峰概念図 静大 三二二

エベレスト・ビュート関係写真三葉 (吉沢一郎) 三二二

チューレン中央峰からのダウラギリ諸峰とアンナプルナI峰。C4からみたチューレンの三峰 静岡大学隊撮影 三二三

ダウラギリI峰 1970 日大隊撮影 三二三

シタ・ツツラ峰写真 日大隊 三二三

シタ・ツツラよりダウラギリII, IIIおよびV峰を望む 日本大学 三二三

カンジロバ・ヒマール主峰 大阪市立大 三二三

工事中の東工大山岳部員(写真) 三二三

Peak 29 (7835m) 連続写真 三二三

マナスル、P 29、ヒマールチューレン 阪大 三二三

ナガールコットの展望図、ほか写真一葉 (吉沢) 三二三

A C名誉会員横、松方両氏写真(吉沢) 三二四

Roivaling Himal 図 高野山大、学術調査隊 三二五

マカルーの西稜 写真高橋昭氏提供 三二五

イヌク谷からのピーク43 山岳巡礼クラブ 三二五

ダルマンからのヒマラヤ展望(図と説明) (吉沢一郎) 三二五

レニン峰周辺図と説明 (吉沢一郎) 三二六

マナスル西壁写真四葉(C2よりManaslu C3一傘岩間の西稜の荷上げ) C2と傘岩、傘岩の荷上げ) 高橋 照 三二六

SKETCHMAP of MANASLU A. Takahashi 三二六

弥彦山松明登山写真二葉(高頭さんのレリーフの前で、藤島支越後支部長) (吉沢一郎) 三二六

Dhaulagiri-Iカッター 山里寿男氏作 三二六

塚本繁松氏写真 ソ連ア年鑑関係地図二、写真二葉(地図一ウ オニスル・エ・トボグラフィ周辺図、パペー ダ山群周辺図。写真一シヘリダ峰、シメロフ スキー峰) 田村 俊介 三二七 ゼラゴ峰(写真)長崎大隊・一瀬義典 三二七 向井ビル(写真二葉) 三二七 マナスル西壁隊歓迎会写真二葉(吉沢) 三二七 チューレン・ヒマール地図 東大隊 三二七 ウェーリツ・ギボン・ハット 三二七 今井 雄二 三二七 夜更のエベレストと故成田氏のケルンの写真 越後支部・広沢伝一三二八 奥只見の古い吊橋写真二葉 三二八 宮森 常雄 三二八 雪崩探検隊地図(ナムチエ・バザール北部) 三二八 バインターブラック写真 高橋 正治 三二八 確保関係図二枚 松永 敏雄 三二九 スケッチ・エベレストほか二葉 三二九 川喜田壯太郎筆 三二九 ガンガブルナ試登ルート図 八王子隊 三二九 故深田久弥氏墓参関係写真三葉(吉沢) 三二九 テンジン氏の末子の写真 三三〇 スケッチ一葉 (原の印あり) 三三〇 サラダール・ランガール山塊図 宮森 常雄 三三〇 Makalu II ルート図 千葉大隊 三三一 TRICH・MIR 南面写真 三三一 津田 文夫 三三一・三三二 Chongra Main. 地図 岩峰登高会 三三一 はくわんふう(スケッチ) 三三一 川喜田壯太郎筆 三三一・三三五 ミルフォールド・サウンド写真 三三一 秋山 宏明 三三一 ウシエニアの港 植村 直己 三三一 Tui Zom I, II, III・Buratoyosa 図 三三一 高橋 善数 三三三 Sketch map of Gazen Gol Region, Hindu Rai 高橋 善数 三三三 Chamba, Lahul 図 慶応大隊 三三三 カラホルム・雪湖及びオーガ峰地図 三三三	立大理岳会 三三三 アフガニスタン砂漠写真二葉 三三三 C IIよりキユンカ峰とKE・一写真 三三三 梶 正彦 三三三 テイリッチ・ミールの地図とルート図 三三三 梶 正彦 三三三 JAC・石川支部隊 三三三 スケッチ 藤江幾太郎画 三三三 スケッチ(図書紹介・カット) 三三三 神崎忠男画 三三四 山研の透視図と一、二階平面図 三三四 制動確保の説明図(六枚) 松永 敏郎 三三五 サラダール西壁 一橋大隊 三三五 スケッチ(会務報告カット使用) 三三五 神崎忠男画 三三五 地ごく谷でのハーディ夫妻写真 三三五 石坂 久忠 三三六 チチカカ湖より (吉沢亨) 三三六 オホス・デル・サラドとアンデスの第二高 三三六 峰(写真) アタカマ探検隊 三三六 ATACAMA EXPEDITION 地図四枚 三三六 スケッチ(図書紹介カット使用) 三三六 中垣淑子画 三三六・三三八 ソトコ峰。バリアー・ノブ頂上より北方を望 三三八 む(写真) 国鉄山岳連盟 三三七 Mt.クック周辺、NZ DARRAN 山群概念図 三三七 山伏岳より高松岳を望む(写真) 三三七 小林 智明 三三八 梶山新湯野天風呂(写真) 坂倉登喜子 三三八 Nampa 地図 青森岳連登山隊 三三八 山研上棟式写真 安彦六郎撮影 三三九 カット(図書紹介使用) 宮下啓三画 三三九 三二九・三三四・三三六・ 三三七・三五〇 ZERMATT スケッチ 川喜田壯太郎画 三三〇 川喜田壯太郎画 三三〇 ご気嫌の今西(錦) 支部長写真 三三〇 川喜田壯太郎画 三三〇 中目覚先生(写真) 名須川 浩 三三三 山岳会群像(スケッチ) 吉阪 隆正 三三三 板倉勝彦、勝敏氏写真 板倉勝正提供 三三三	カット(エスキモーの八才の子の描いたもの) 提供・植村直己 三三三 須金岳より虎毛山を望む写真 中村 純二 三三三 上高地山岳研究所の写真 三三三 九山山房訣れの会寄せ書 三三三 新クラブ・ルーム案内図 三三三 滝の上温泉付近の地図 村井 米子 三三五 グリーンランド Sorapuk 付近地図 三三五 石井鶴三先生画カット六枚 三三六 新クラブ・ルーム見取図 三三六 上高地山岳研究所写真 三三七 第二十七回ウエストン祭写真二葉 三三七 足立源一郎先生の手紙とカット 三三七 小野幸提供 三三七 高千穂町のウエストン碑写真二葉 三三八 ホップゲビルグス登山学校写真 三三八 池沼 慧 三三八 JAC信濃支部アンプルナC I 下方よりの 三三八 スケッチ(ルート図) T・M 三三八 第十一回木暮翁碑前懇親会写真 川北 仁 三三八 大平巖、苗場山頂写真と色紙 三三八 久保田 全 三三九・三四〇 小島栄氏近影 鈴木 実 三四一 静岡界内の一等三角点(地図) 水野 公男 三四一 山研竣工式写真二葉 安彦六郎撮影 三四二 松方三郎氏の書(色紙) 小野幸提供 三四二 M・サデギアン会長と吉沢一郎氏写真 山本 良三 三四二 昭和四十八年度年次晩餐会の写真 (吉沢) 三四三 近代登山の先駆者たち展写真五葉 小倉 厚 三四四 鬼の目ルート図と概念図 木本 善重 三四四 正月の白峰三山 安田博撮影 三四五 カズベク山 田村俊介撮影 三四五 山岳画二点(石田深山画) 鈴木実撮影 三四六 鳥屋山位置図 市村 貞夫 三四六 木暮友枝さんの手紙 小野幸提供 三四七 松方三郎氏の手紙 小野幸提供 三四八 昭和四十九年度総会であいさつする今西錦司 三四八	会長、松方三郎追悼会写真 小倉 厚 三四八 第二十八回ウエストン祭写真二葉と尾崎喜八 小倉 厚 三四九 先生追慕の集い写真 小倉 厚 三四九 御在所岳前尾根の登攀 阿部 和行 三四九 カット「ウスバサイシン」 坂倉登喜子 三三〇 ジャコ・ギャルモの蔵書票 雁部 貞夫 三三〇 その他・正誤表および訂正 雁部 貞夫 三三〇 正誤(昭和四十五年除籍者名簿) 三〇六 ガルワル西部地図(一五万分一) 三〇六 同じ手紙が三カ所に (吉沢) 三二二 ネパール・ヒマラヤ全域を上空から観察して 三二二 楽しむひ仲間を募っています(広告) 三二六 訂正(会報記事中) 三二七、三二四、三三五、 三二六、三二七、三二八、 三三〇、三三一、三三三、 三三八、三三九、三四〇、 三四三、三四七、三五〇 (吉) 三二八 親子で署名した本 三二八 乱丁のおわびとおねがい 三二八 投報室・編集部 三二二 おわび(署名の欠除) 三二二 訂正(会報三三八号除籍取消) 三二二 訂正(除籍者取消) 三四三、三四五 訂正(除籍者取消) 三四六、三四七 お詫び(原稿掲載のおくれ) 小倉 三四八 訂正(除籍者) 三三〇 お知らせ・追悼集「松方三郎」を出版 三三〇 KK共同通信社出版局 三三〇 昭和四十九年十月二十日発行 113 東京都文京区湯島一六一 利根川商事株式会社ビル 発行所 法人 日本山岳会 社団法人 日本山岳会 発行所 今西 錦司 編集代表 山崎 安治 (813) 二二八(代表) 振替口座東京四八二九番 東京港都区赤坂一丁目三番六号 印刷所 株式会社 技報堂
---	---	---	---

茗溪堂＝山の本

東京都千代田区神田駿河台2の1・Tel(291)9442振替東京24723

かんあおい

山下一夫著 <A 5判>定価2,600円

遙かなる未踏の尾根

マカルー1970年

日本山岳会東海支部

<B 5判430頁・カラー64頁>定価4,800円

シブトンの自叙伝

未踏の山河

大賀二郎・倉知 敬訳

<A 5判440頁>定価1,900円

山に忘れたパイプ

藤島敏男著 <菊判584頁>定価2,500円

森林・草原・氷河

加藤泰安著<A 5判482頁>定価1,500円

山の古典と共に

大島堅造著<四六判280頁>定価1,500円

雪山・藪山

川崎精雄著

<A 5変型判340頁>定価1,200円

我がスキーシュプール

麻生武治著<B 6判388頁>定価3,400円

山岳

日本山岳会編

<A 5判>

67年 2,500円
66年 2,300円
65年 2,000円
64年 2,000円
63年 2,200円
62年 2,000円
総索引 1,000円

山で唄う歌1集・2集

戸野 昭・朝倉 宏編

<A 6判126頁>1集240円・2集280円

屋久島・美しい豊かな自然

赤星 昌編 <B 6判202頁>定価480円

日高山脈

北大山の会編

<菊判362頁>定価2,200円

原野から見た山

坂本直行文集

<B 5箱入布特製本>定価4,200円

雪原の足あと

坂本直行著<B 5判206頁>定価2,800円

日本の山旅

足立源一郎スケッチ帖

<A変型208頁>定価3,600円

いろいろばた

南会津山の会

<B24どり判320頁>定価1,900円

すこし昔の話

初見一雄著<四六判400頁>定価1,200円

ブータン感傷旅行

小方全弘著 <菊判280頁>定価980円

登頂ゴジュンバ・カン

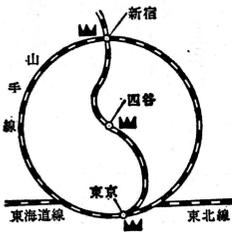
高橋 進編 <A 5判350頁>定価900円

登山・スキー用具専門店

山の店

大阪市北区梅ヶ枝町101
TEL. 06(362)5736

- 買いやすい
山の店
- 北へ来たら
山の店
- フレッシュな
山の店



四谷店 東京都新宿区三栄町三番地
TEL (351) 7432-1912
八重洲口店 東京都中央区八重洲二の五
TEL (271) 1560-8575
新宿店 新宿ステーションビル四階
サービスショップ
TEL (352) 65664
日本信販加盟店



山友社 たかはし

山とスキーの専門店

片桐

東京都文京区湯島3丁目38-9
片桐 盛之助
電話 東京(831) 1794・6680番

なるべく、なにも
持たない方がいい
けれど、どうしても
要るものがある。
なにしろ人間ですから
そして、山ですから
どうしても必要なもの
をこころえ、こころえ
ま責任は、もっています

かたるぐンティ
でんや 281-8456
中央区・八重洲4の1

秀山荘

登山とスキー具

イワタ

東京都中央区日本橋通2-1
PHON: 271-7686・1718

登山用具の専門店

好日山荘

東京都・中央区銀座3-5-7 (561)3600・(567)9031
東京都・中央区銀座3-4-6 (561)0966 スキー店
大阪府・北区曾根崎上1丁目47 (364) 0933 (代)
福岡県・須崎町1-4 (28) 3440

